

スポーツを活用した ひとづくり・まちづくり

山形県スポーツコミッション研修会

2022年1月20日（木）13:30～

於：山形県総合運動公園内 大会議室（オンライン併用）

順天堂大学スポーツ健康科学部 工藤康宏

ykudou@Juntendo.ac.jp

スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業

(前年度予算額 65,456千円)
令和3年度予算額 164,927千円



地方自治体、スポーツ団体、民間企業（スポーツ産業、観光産業）等が一体となり、地域活性化に取り組む組織である「地域スポーツコミッション（地域SC）」の設立から自走化までの流れを支援し、取組の横展開を図ることにより、スポーツによる地域活性化を推進する。

- ① **設立支援**…ホストタウン等の官民連携横断的な組織を地域SCに発展させるため、関係者合意形成や基本計画の策定等の活動を支援
- ② **自立支援**…コロナ禍における活動再開、新たな事業計画の策定、自走化に向けた経営体制強化を図る積極的な活動を支援
- ③ **総合コンサルティング**…補助効果の最大化を図るため、①②の採択先に対し、専門的知見を有する事業者から、各種計画策定や事業実施に関する助言・協力・提言等を行うとともに、事業成果や課題・対応策等の考察を含めた報告書を作成

「東京2020オリパラ大会」

ホストタウン登録された地方公共団体や「東京2020参画プログラム」に登録された取組等を行う組織を地域スポーツコミッションに発展させるための体制整備を支援。

ホストタウン等

合意形成、基本計画の策定（改定）等の取組を支援。

設立支援

コンサル



スポーツ庁

自立支援

コンサル

設立支援

実行委員会等

合意形成、基本計画の策定（改定）等の取組を支援。

「WMG2021関西大会」

事前合宿や「TSUNAGUプログラム」に登録された取組等を行う組織を地域スポーツコミッションに発展させるための体制整備を支援。

新型コロナウイルス対策

長期継続的な人的交流を図る「スポーツ合宿・キャンプの誘致」



写真提供：佐賀県



写真提供：網走市

地域の気候・環境・施設等を活用

【地域への社会的効果】

- スポーツのまちとしてのアウトターブランディング、
- ローカルアイデンティティ・地域一体感の醸成
- 地域スポーツ人口・関心層の拡大
- 季節・年間を通じての誘客による、従事者の雇用安定

スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化へ

創出された優良事例を、全国へ横展開

コロナ禍における自走化に向けた事業計画の策定

恒常的なスポーツ誘客が可能な「通期・通年型スポーツアクティビティの創出」



写真提供：みなかみ町

写真提供：宮崎県

アウトドアスポーツや武道等を活用

【地域への経済効果】

- 合宿参加者・スポーツツーリストの滞在に係る消費（宿泊・飲食・観光・物販など）
- スポーツアクティビティの参加料収入

山形県内の合宿受け入れ状況

表11. 合宿受け入れ状況

項目	スポーツ合宿		文化・芸術合宿	
	%	(n)	%	(n)
受け入れている	65.6	(21)	28.1	(9)
受け入れていない	25	(8)	50	(16)
わからない	3.1	(1)	15.6	(5)
今後受け入れ予定	6.3	(2)	3.1	(1)
無回答	0	(0)	3.1	(1)

note：一部合宿客かどうかの判断がつかない事例あり

- スポーツ合宿は**約7割程度**、文化芸術合宿は**3割程度**
- 合宿受け入れ希望に対する理由
 - ポジティブな理由
 - スポーツ振興、スポーツの活用を進めているため
 - 地域活性化やまちづくり、交流人口増加のため
 - 施設の有効活用のため
 - 経済効果への期待
 - ▶ ネガティブな理由
 - ▶ 受け入れるだけの施設が不足
 - ▶ 宿泊施設、キャパシティがない
 - ▶ 施設の老朽化

スポーツによる地域活性化・まちづくり担い手育成総合支援事業

令和4年度予算額(案) 198,000千円
 (前年度予算額 164,927千円)



スポーツによる地方創生・まちづくりを推進していくため、スポーツツーリズムを中心にスポーツを活用したまちづくりを推進する「**地域スポーツコミッション**」(地域SC)について、その「**質の向上**」に向け、**新たな事業展開へのチャレンジ等**をモデル的に支援するとともに、その運営を担う**基盤人材の育成**をサポートする。

多角的な事業展開への新たなチャレンジ 「地域SC経営多角化等支援事業」

・新たなアウトターやインナー事業の推進を含めた多角的な事業展開にチャレンジする地域SCに対し、新たな事業のスタートアップを支援

※併せて、オリパラ・レガシーへの転化(地域SCの新規設立)も支援

●**アウトター事業の事例:**
 恒常的なスポーツ誘客が可能な「**通期・通年型スポーツアクティビティの創出**」



日本発祥の武道をコンテンツ化



景観・四季を活かしたサイクリング

長期継続的な人的交流を図る「**スポーツ合宿・キャンプの誘致**」



ホストタウンをレガシー化



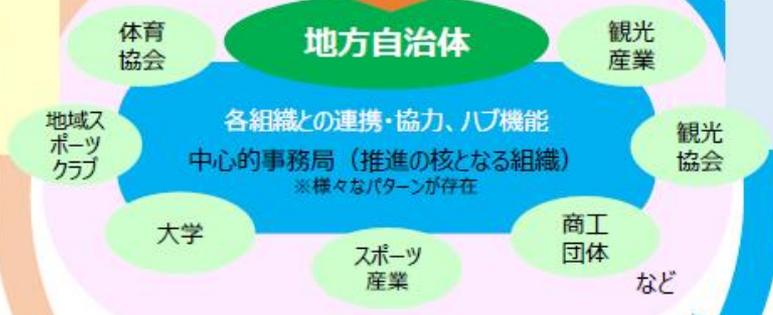
継続的なスポーツ合宿

課題の共有

スポーツ庁

支援

人材育成
ノウハウ等の共有



地域スポーツコミッション(総称)

地域の自治体、スポーツ団体、民間企業・団体等が一体となりスポーツによる地域振興に取り組む組織。
 ※ 地域外からの交流人口拡大のための活動は必須要件

知見・ノウハウの展開

スポーツによる
地方創生・まちづくりへ

コンサルティング、地域SC基盤人材の育成・確保 「地域SC基盤人材育成サポート事業」

・地域SCの経営多角化・設立に対するコンサルティングを実施、ノウハウの蓄積
 ・基盤となる人材を育成・確保するため方策の調査・研究・実証
 ・各SCや基盤人材間の知見、ノウハウの共有化を図るためのネットワークを形成

側面サポート

●**インナー事業の事例:**
 地域住民向けの「**健康スポーツ教室、地元スポーツ施設管理**」



多世代が交流するスポーツ教室



住民へのスポーツの場の提供

地域コミュニティの活性化を図る「**交流イベント・スポーツインライフの推進**」



オリンピックによるランニング教室



企業・地域が連携した多世代運動会

今後、DMOとして

- スポーツ合宿、スポーツイベントの誘致開催
 - 長期的な人材交流
- 恒常的なスポーツ誘客
 - しまなみ海道サイクリング
 - 福島県エビスサーキット ドリフト体験
 - 武道ツーリズム
 - 北海道ニセコや白馬スキー場（冬季）
- 自然資源の活用は一つのヒント

DMO：Destination Management Organization.

観光庁では、観光地域づくり法人と呼び、観光地域マーケティング・マネジメントを基礎的な役割・機能としている

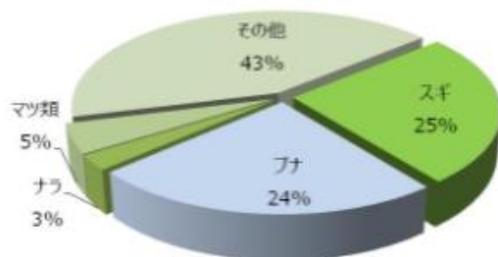
1 やまがたに森林ってどのくらいあるの？

- 山形県は県土の約7割が森林です（右図の緑色が森林です。）
- 森林は、私たちが暮らす平野や盆地を包み込むように分布しています。
- 山形県の森林面積は、約67万haで、県土面積の約72%を占めています。
- 海岸地帯のクロマツ林やタブ林から、標高2kmを越える山岳地帯のハイマツ林に至るまで多様な森林が分布しています。
- このうち、天然のブナ林は日本一の面積を誇っています。



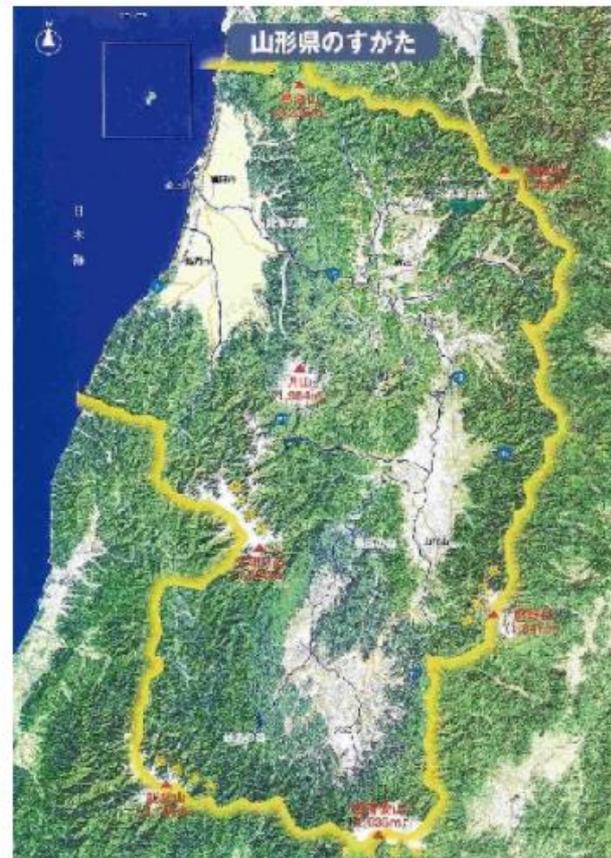
山形県土面積の内訳（平成25年現在 約93万ha）

※資料：山形県統計年鑑



やまがたの森林樹種別面積（約67万ha）

※資料：2000年世界森林資源センサス



出典：山形県HP

「日本遺産」認定記念大会
第3回 山寺・蔵王ウルトラマラソン

2022.4.24
YAMADERA・ZAO
ULTRA MARATHON
100K・60K

—新たな歴史がここから始まる—



ふかふかのトレイルをみんなで走ろう！
2021年6月27日（日）
第2回
八森山・大高根山
トレイルフェスタ
Mt.Hatumori Mt.Otakane Trail Festa
トレイルランニング



安心して走れる周回30kmコースも新設！
これからトレイルランニングをはじめたい方にもおすすめ！

画像：Jogtrail

山形県トレイルラン系大会一覧

開催日	大会名	開催地	主要種目	
			ウルトラ	トレイル
2021.6.27(日)	第2回八森山・大高根山トレイルフェスタ	山形県村山市		30km
2020.8.10(月)	Kahoku Trail	山形県河北町		21km
2021.9.11(土)	ZAO SKYRUN 2021 -MAIN EVENT-	山形県山形市		5.5km
2021.9.12(日)	ZAO SKYRUN 2021 -MAIN EVENT-	山形県山形市		24km
2021.10.31(日)	第2回山寺蔵王ウルトラマラソン	山形県山形市	100km	

IZU TRAIL Journey 2021

(伊豆トレイルジャーニー2021)



About ITJ

開催日程 2021年12月12日 (日)
レース2種目 (ITJ70k/ Around Alone 28k)
前日に選手受付、エキスポあり

開催場所 静岡県松崎町～伊豆市修善寺

総合プロデューサー 千葉達雄
コースプロデューサー 鏑木毅 (プロトレイルランナー)

Living on the Trail

Concept “新しい伊豆の旅の創造”

伊豆半島の宝である、自然、歴史、文化を理解・尊重し、それらと共生したトレイルランニング及び地域の持続可能な発展に貢献する

- ✓ 持続可能な伊豆新しい旅の提案
- ✓ 伊豆地域におけるスポーツ交流人口の拡大
- ✓ トレイルランニングの発展への貢献
- ✓ おもてなしによる伊豆ファンの増加

主催：伊豆トレイルランニングレース実行委員会

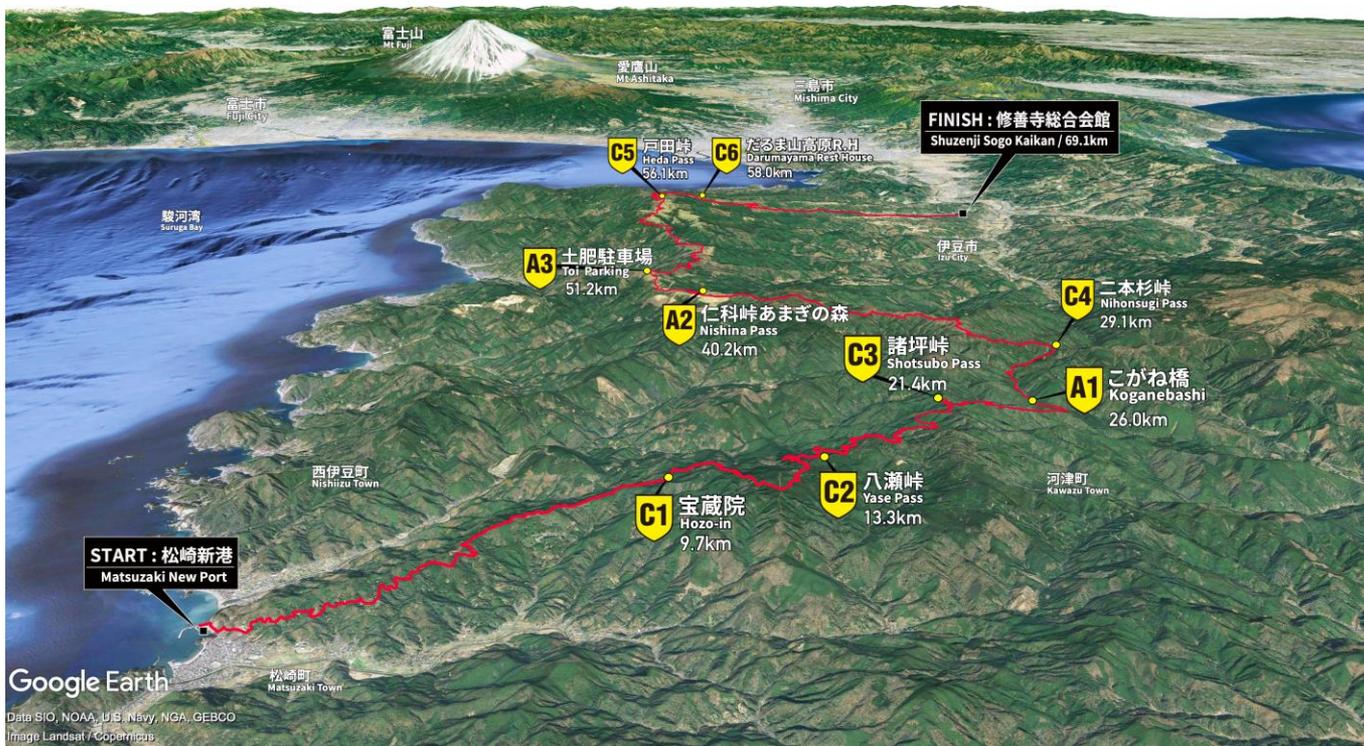
【構成団体】

- ・ 松崎町
- ・ 西伊豆町
- ・ 伊豆市
- ・ 松崎町観光協会
- ・ 西伊豆町観光協会
- ・ 伊豆市観光協会
- ・ 伊豆市商工会
- ・ 西伊豆古道再生プロジェクト
- ・ 合同会社さとづくり総合研究所
- ・ NPOサプライズ
- ・ 株式会社ソトエ

【後援団体】

- ・ 観光庁
- ・ スポーツ庁
- ・ 静岡県
- ・ 三島市
- ・ 沼津市
- ・ 河津町
- ・ 一般社団法人美しい伊豆創造センター
- ・ 伊豆半島ジオパーク推進協議会
- ・ 一般社団法人全国森林レクリエーション協会
- ・ 静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会
- ・ 河津町観光協会
- ・ 松崎町体育協会
- ・ 伊豆箱根鉄道株式会社
- ・ 東海バスグループ

コース概要 ITJ 70k



距離69.1km

累積標高差

+ 3242m

-3162m

制限時間14時間

参加費¥22000

(¥74000)

募集1400名

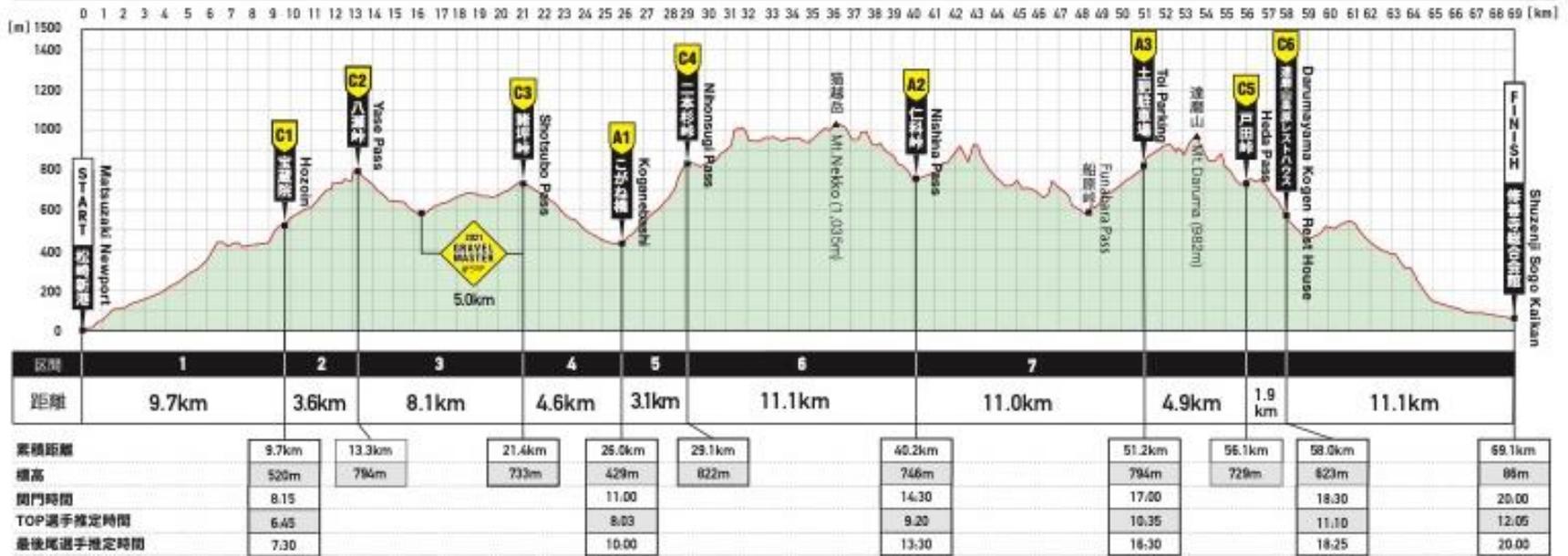
伊豆トレイルジャーニー公式ホームページより

<https://www.izutrailjourney.com/>

コース概要 ITJ 70k

ITJ 70k RACE COURSE PROFILE

距離 / 69.1 km 累積標高 / +3,242m 累積標高 / -3,162m 最低標高 / 0m 最高標高 / 1,035m(猫越岳)



目標タイム

伊豆トレイルジャーニー公式ホームページより

<https://www.izutrailjourney.com/>

【TEAM ITJ】

- 1) 大会を支えるTEAM ITJ/ボランティアも楽しめる大会
 - ・ボランティアもリピーターが多い
 - ・地元の人×リピーターが中心
 - ・新規ボランティア参加者も参加しやすい

- 2) 継続したトレイルワーク
 - ・大会期間だけでなく、通年でトレイル整備を実施
 - ・トレイルワーク参加者多数

Volunteer vacation と Trail work

- ✓トレイルを整備するために、バケーションをとる方法。（USAでは主流）
- ✓レース当日や前後だけでなく、大会以外でも使えるよう活動。
- ✓トレイルカルチャーを次世代に繋げる。
- ✓荒廃した山道（トレイル）や古道整備、復活

※一部国立公園の為、許可を取って専門家指導のもと実施。

スポーツを通じたひとづくり・まちづくり

- 跡継ぎ問題
 - 始めたはいいが、次世代が...
- 恒常的な誘客の方法、ツールの開発
 - イベント、大会、合宿だけではない
 - 小規模・少人数という考え方も
- 目的地になってもらうためには？
 - ディスティネーション・マーケティングやマネジメント
 - ディスティネーション：「行政上または分析上の境界の有無にかかわらず、観光客が一泊または宿泊できる物理的な空間のこと。」商品、サービス、活動、体験の集合体など。